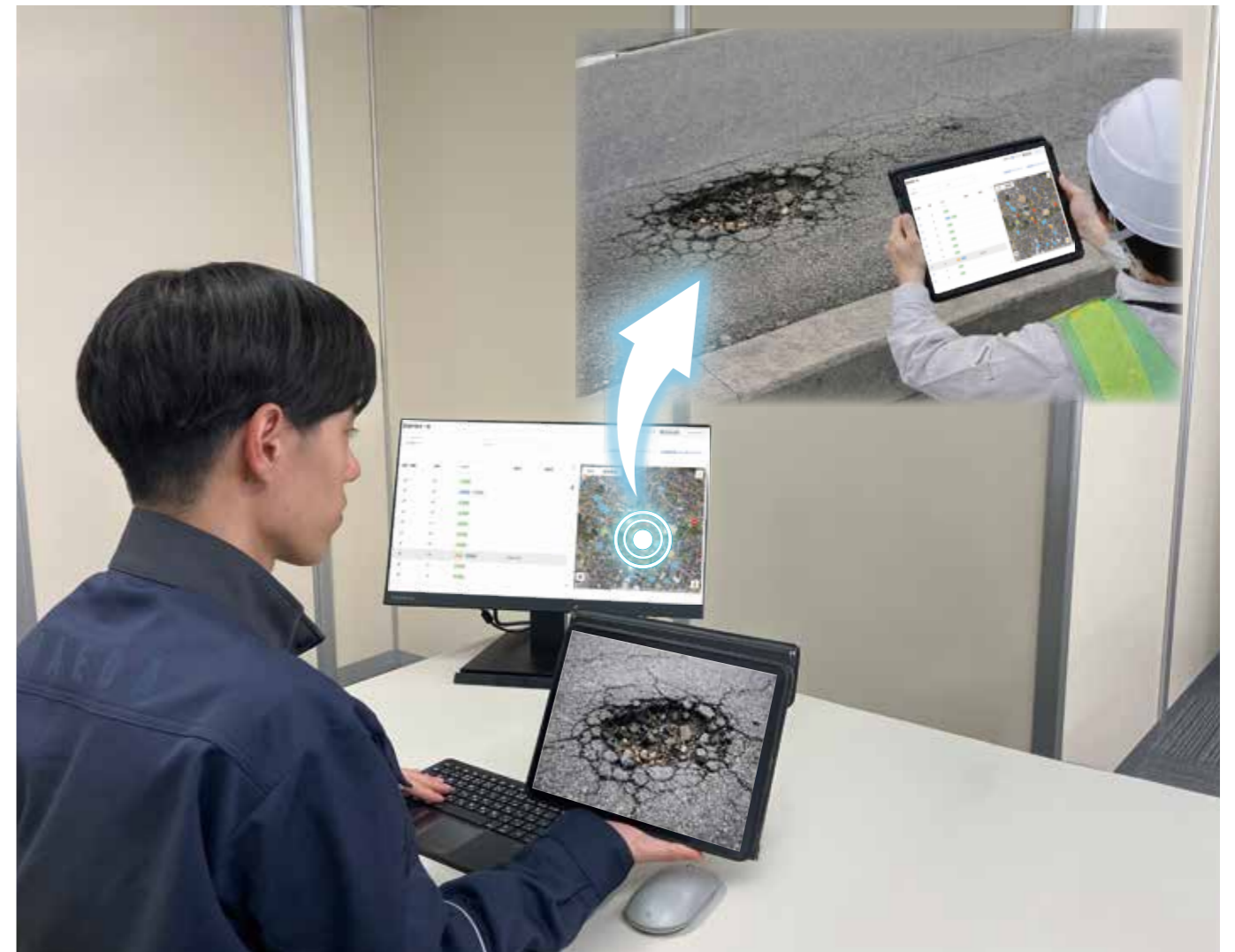


# みちタグ

Michi Tag



一般走行車両の接続データから収集したビッグデータを活用して道路損傷を検出し、補修業務の効率化、管理水準の向上を図ります。



# 補修優先度の見える化で、賢い道路補修をサポート！

## みちタグポットホール検出システムとは？

一般走行車両のコネクティッドデータから収集したビッグデータを活用して、ポットホールなどの道路の損傷をAIで評価し、補修の優先度を5段階の印（タグ）で表示したデジタル地図を提供するサービスです。また、補修後の記録をデジタル保存することも可能です。

- ✓ 道路の損傷箇所を地図上にタグ付け（5段階の補修優先度で色分け）
- ✓ 補修の優先順位を番号表示



※検出された箇所を正しく損傷として評価できた割合。  
なお、走行条件等により、損傷が検出されない場合もあります。

## ● 損傷事例と補修優先度



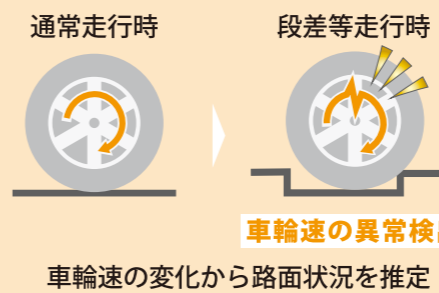
## システム導入効果

- Point 01 点検業務の負担が軽減**  
損傷状況が地図上に可視化されるため、現地確認や不要な出動を減らすことが可能です。
- Point 02 補修の意思決定をシステム化**  
属人的な補修判断によらず、システムにより適切な優先順位を決定することが可能です。
- Point 03 関係者間の情報共有を円滑化**  
道路管理者と維持補修班の間で、情報をリアルタイムで共有できます。

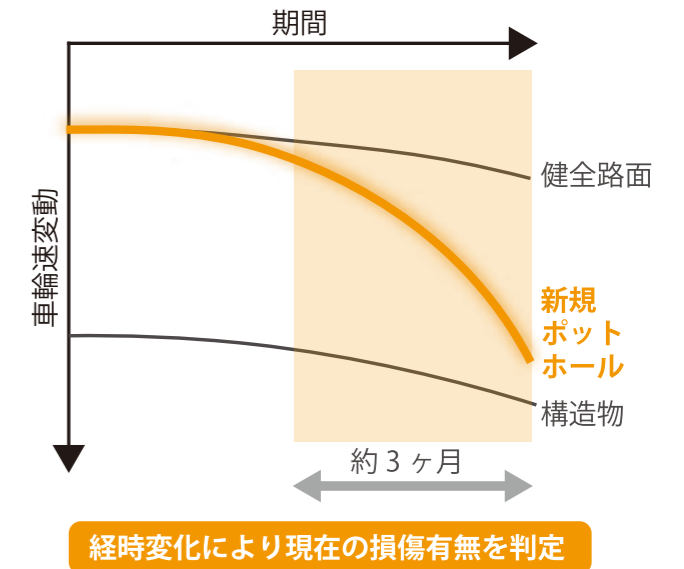
## 損傷検出の仕組み

日々の走行記録を車両ビッグデータとして蓄積し、道路の損傷を検出。

### ● 検出の仕組み



### ● 判定の仕組み



## 一般的な画像診断システムとの違い

- ▶▶▶ 導入コストが安い
- ▶▶▶ ポットホール予備軍の補修優先度を評価できる
- ▶▶▶ 一般走行車両の走行台数が多く、抜け道や辺地生活道路も評価できる
- ▶▶▶ 車両通行部（管理瑕疵に繋がる箇所）に限定した損傷を把握できる